

演題名:大学の国際化に関する考察

氏名:石井 清志

所属:国際医療福祉大学
成田保健医療学部 作業療法学科

【背景】

<背景>

大学教育と医療の国際化に関する課題課題

・理工系を中心とした研究面で国際的に評価される優れた成果が多い。

・「日本の医療は進んでいる」といわれてきた。



しかし...

・留学生や海外の優れた教育者・研究者の受入れや海外の大学との連携に課題がある。
・大学が有する優れた研究能力が大学の国際的な魅力に結びついていない。
・国際的病院評価認証機関により認証を受けた国内医療機関は2013年3月たった7病院（2013年3月）しかなく、アジアでの日本のプレゼンスが失われつつある。

【目的】

目的

「大学の国際化」において議論されているトピックを抽出し、現状を把握する。



医学中央雑誌（以下、医中誌）を対象とした計量テキスト分析（テキストマイニング）。



【方法】

<対象>

医中誌Webの検索において該当した論文タイトル、過去5年分（2012年～2017年）

<検索キーワード>

「大学」「国際化」

<ソフトウェア>

計量テキスト分析のソフトウェアである「Kh Coder」を用いた。



【結果】

<分析対象となったタイトル数>

232件

<タイトルの形態素分析の結果>

語句の総数：5,547語

<頻出単語>

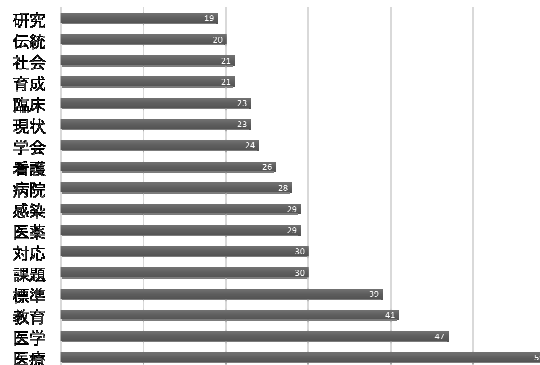
医療、医学、教育、標準、課題、対応、医薬、感染、病院、看護、学会、現状、臨床、育成、社会、伝統、研究

<クラスター分析>

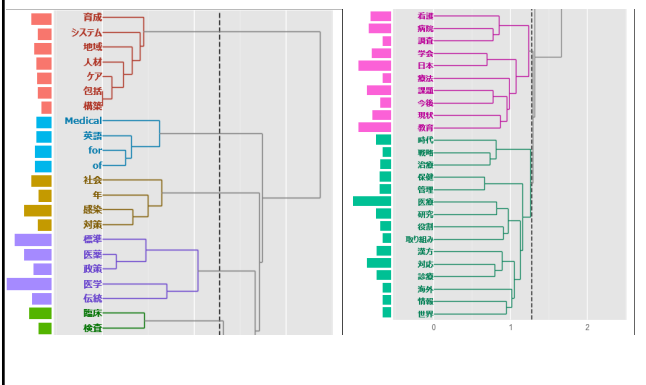
「地域」「医学英語」「感染症」「医療政策」「検査」「看護」「海外戦略」7つに分類

【結果】

<頻出単語>



【結果】＜クラスター＞



【考察】

テキスト分析の結果、医学教育や看護、検査といった医師だけではなくコメディカルに関する論文も多数あることが明らかとなった。また、感染症や医薬品といった時代の潮流と関連するタイトルや社会や伝統といった人の生活環境に関するものもあった。医療系大学の国際化については、医師のみならずコメディカル、医薬品などの先端の知識、感染症や伝統医療、社会生活といった人間についての幅広い視点も含まれていることが示唆された。

【結語】

本研究は論文タイトルを対象に実施した。今後はさらに対象を広げるなどして、医療系大学の国際化について考察を深めていく所存である。